MSSP管理者、UPC管理者、およびSTC管理者のMFAを有効にする

内容

はじめに

前提条件

- 要件
- 使用するコンポーネント

概要

MFAの有効化と無効化

はじめに

このドキュメントでは、MSSP管理者、UPC管理者、およびSTC管理者に対してMFAを有効にする方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、Cisco Umbrellaに基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

概要

マネージドセキュリティサービスプロバイダー(MSSP)またはUmbrellaパートナーコンソール(UPC)、あるいはSecure Trial Console(STC)の管理者がCisco Umbrellaコンソールログインを行う場合は、Cisco OneIDシングルサインオンを使用する必要があります。これは、Umbrellaコンソールの作成時に事前に設定されています。

MFAの有効化と無効化

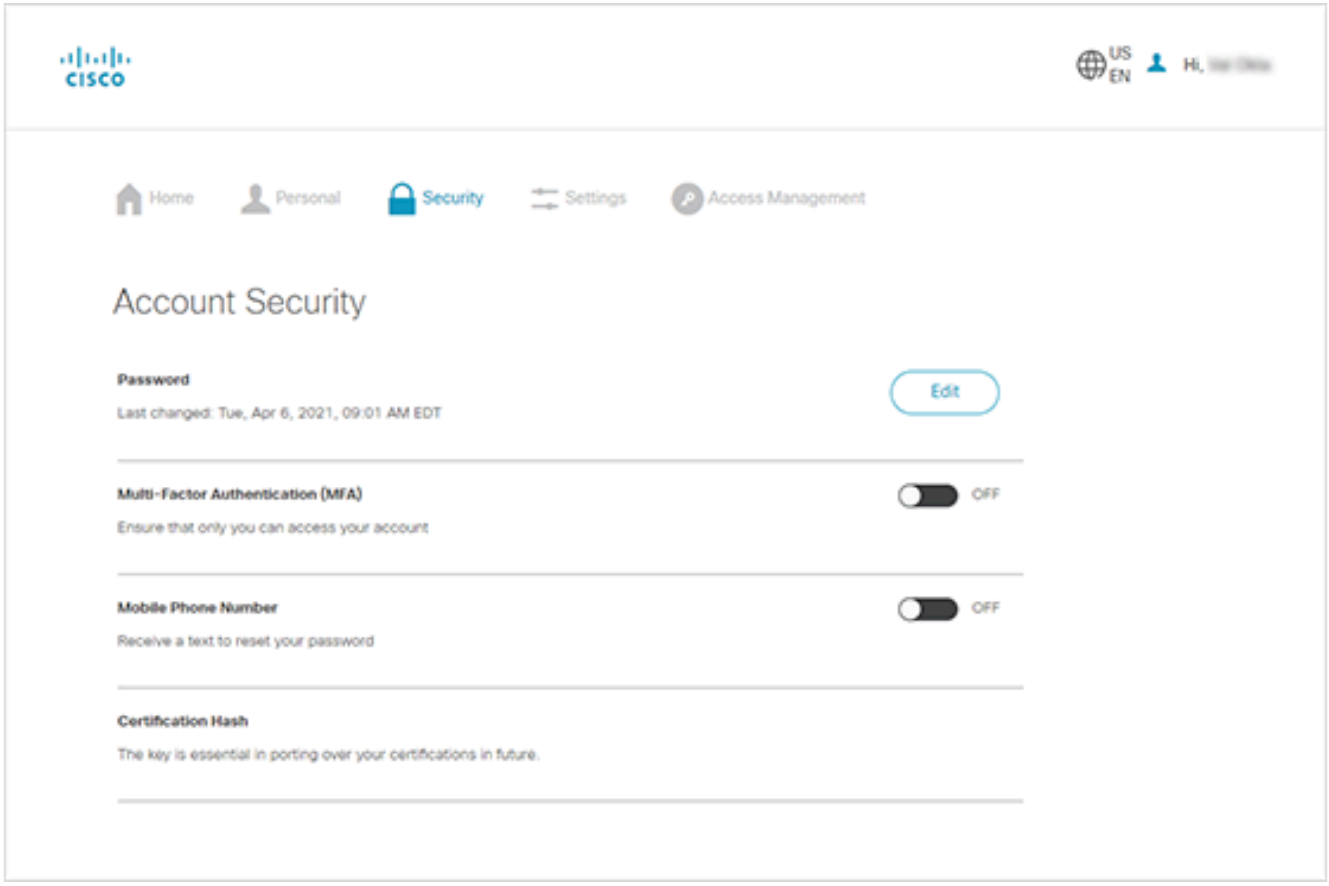
多要素認証(MFA)（二要素認証とも呼ばれる）を有効にするには、Cisco OneIDポータルで設定を

有効にする必要があります。

1. CCOIDアカウントathttps://rpfa.cloudapps.cisco.com/rpfa/profile/profile_management.doにサインインします。

2. Securityタブに移動します。

3. MFAトグルを有効にして、セットアップ手順を完了します。



6169738007700

4. 完了後、Cisco Umbrellaダッシュボードからログアウトし、再度サインインして、Cisco OneIDがMFAコードの入力を求めていることを確認します。

この機能を無効にするには、同じ手順を実行しますが、設定をオフに戻します。

このプロセスの詳細については、Cisco.comアカウントのドキュメントを参照してください。

翻訳について
シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。